

愛媛のおやじ井戸端会議について

愛媛のおやじ井戸端会議のはじまり

おやじの会は、父親の子育て参加や地域社会への貢献を目指して、地域のおやじ（女性も含む）たちが組織する自主的・自発的な団体です。現在、県内で120団体のおやじの会が活躍中です。

平成18年には、積極的に活動しているおやじの会の会員が世話人会を立ち上げ、平成19年3月に「語り合おう！おやじの熱い思いを！」をテーマに、第1回愛媛のおやじ井戸端会議が開催されました。そこでは、おやじの会の活動状況や組織の課題について熱心に語り合い、「子どもたちのためにかく動く」「各分野のプロがいる強みを出す」「地域とのつながりを大切に、地域や社会のために活動する」そして、「おやじ自身が楽しむ」といったおやじの会ならではの目標を確かめ合うことができました。

回を重ねる愛媛のおやじ井戸端会議

第3回（平成21年5月）からは、意見交換に加え、「秘伝!?おやじの得意技 井戸端屋台」と称した体験活動を組み入れました。屋台形式で、子どもの体験活動にも応用できる活動として、泥だんごづくり、竹とんぼづくり、ホバークラフト、空気砲、竹で作る紙玉鉄砲、新聞でする雪合戦など、活動の幅が広がってきました。第4回（平成22年5月）から始まった「サバイバル自炊」では、屋外炊事場を使い、料理のプロが考えたレシピをもとに参加者全員で調理をしています。もちろんこれも、子どもの体験活動に応用できる内容で、「野外炊飯でそんなメニューの料理が作れるの？」というメニューが並んできました。毎回、このサバイバル自炊を楽しみに参加しているおやじたちも多いです。



開会式の様子（第7回）



井戸端屋台の様子（第7回）



県連合組織「愛媛のおやじ井戸端会議」設立

平成 25 年 6 月に 7 回目の会議を「世話人会」主催で開催しました。約 100 人の参加者と交流し研修を深める中で、以前から声が上がっていたおやじの会等関係団体の愛媛県連合組織の設立についての機が熟したと感じた世話人たちが、設立準備会を立ち上げ、協議を開始。今回の「第 2 回四国おやじサミット in えひめ」の開会行事の前に、設立総会を開きました。これまで慣れ親しんできた「愛媛のおやじ井戸端会議」を団体の名称とし、県内おやじの会および類似団体への支援、子どもに関する情報の提供等の活動を行うことによって、子どもの健やかな成長に貢献し、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする社会教育団体として歩み出しました。

設立総会では、これまでの経緯報告や設立宣言文を採択し、会則や活動計画、役員を選出について協議しました。

第 2 回四国おやじサミット in えひめ開催

「おやじ最高！ - 集え！四国のおやじたち、愛と熱意で、つなく絆!! -」のテーマのもと、11 月 23 日（土）に、第 2 回四国おやじサミット in えひめを国立大洲青少年交流の家で開催しました。主催は愛媛のおやじ井戸端会議（会長 佐川 良）で、四国内外からの参加者が県内最大級の集団宿泊施設に集結。13 時からの第 1 部では、各団体のアピールタイムに続き、小松小おやじの会の事例発表や意見交換を行う。14 時 30 分からの井戸端屋台では、①「プラバンキーホルダー」②「ハイパーろくむし」③「ピカピカ泥団子」④「段ボール空気砲」⑤「スタードーム」⑥「さぬき連合 presents 手打ちうどん体験」の 6 種類の体験活動を実施。おやじの会による子どもの体験活動の充実をねらいます。17 時 10 分からの第 2 部では、サバイバル自炊が行われました。今回は、地元食材を使った「愛媛の風物詩 いもたき」や「豚の塩釜」「肉豆腐」「手羽元の黒酢煮」など、素敵なレシピが計画され大変盛り上がりしました。



竹で作る スタードーム



ピカピカ泥団子

愛媛県教育委員会のホームページ「愛媛おやじの会ネットステーション」で、わたしたちの活動を紹介してくれています。<http://ehime-c.esnet.ed.jp/shougai/seijinkyoku/oyajiclub/oyajiclubtop.html>

